「農業王国うつのみや」に向けた取り組みは

問　市では農業についての先進性・独創性の高い施策をバランスよく展開し、その成果もようやく目に見える形になってきた。

そこで、「農業王国うつのみや」の実現に向け、農業振興にどのように取り組んでいくか伺う。

答　農業王国うつのみやの実現のため、認定農業者に対する経営改善支援の充実や、生産性・効率性の高い農業経営のための集落営農などの組織化、新規就農者確保のための環境整備など、多様な担い手の確保・育成に引き続き取り組んでいく。

また、情報通信技術や市内企業などが有する優れた加工・製造技術の活用による生産の効率化・高品質化や、熟練農家の持つ高い生産技術の蓄積と市内農家における共有化など、農業生産技術のさらなる向上のための仕組みづくりにも新たに取り組んでいく。

さらに、イチゴなどの栽培環境の改善支援や、「宇都宮牛復興プロジェクト」として、牛の定期的な血液検査に基づく科学的な飼料給与への支援などにも新たに取り組んでいく。

あわせて、アグリネットワーク推進事業の強化による農商工連携の推進やブランド力向上を図るための首都圏PR活動の重点的な展開、さらに、本市農産物や加工品の販路拡大に向けた輸出商談会などへの出展機会を設けていく。

▲宇都宮の主な農畜産物

スポレク祭　宇都宮らしさで　おもてなし

問　11月5日から8日まで県内で開催される第24回全国スポーツ・レクリエーション祭では、本市において壮年サッカー、壮年ボウリング、ソフトバレーボール、年齢別テニス、年齢別バドミントン、マスターズ陸上競技の6種目が開催されると聞いている。

①市民が、生涯にわたりスポーツに親しむきっかけとして活用し、市内プロスポーツチームと連携した取り組みが考えられるが見解は。

②秋には、宇都宮餃子祭りやミヤジャズインなどのイベントがあることから、これらと連携し、市の魅力を市内外に発信してはと考えるが、期間中の主なイベントの実施は。

答　①河内総合運動公園周辺を会場に、7月下旬実施予定の「100日前イベント」の中で、市内のプロスポーツ団体と連携した「親子教室」などの「プロスポーツ体験教室」を開催し、気軽にスポーツに親しみ、生涯にわたりスポーツ活動に取り組めるよう「スポーツ心」を育んでいく。

②11月5日から7日までオリオンスクエアを会場に、市内プロスポーツ3団体によるイベントや市民ジャズバンドの演奏、餃子、カクテルの販売など「飲んで・食べて・聴いて」宇都宮を楽しんでもらう「街中ナイトイベント」を、餃子祭りなどと連携しながら実施し、魅力と活気に溢れた「愉快なまち宇都宮」を十分に堪能していただき、中心市街地の賑わいの創出にもつながるよう進めていく。

▲スポレク祭マスコット「とちまるくん」

電動アシスト自転車の導入　利用者への安全対策は

問　自転車のまち推進計画について伺う。

①誰もが安全に自転車が使える施策事業のなかで、走行空間の確保が掲げられている。市の若手技術職員対象の学習会においては、実際に自転車で走行し今後の改善点の報告があったが、それをどう活かしていくのか。

②誰もが楽しく自転車が使える施策事業のなかで、レンタサイクルの拡充が掲げられている。市営駐輪場や宿泊施設などの貸出拠点には電動アシスト自転車55台の配置を計画しているが、利用者に対し安全対策をどのように行うのか。

答　①市の若手技術職員による技術力向上のための学習会において、中心市街地での自転車走行空間の現地調査が行われ、「自転車利用者のマナーの向上」や「自転車走行環境の改善」など幅広い内容の提案があった。今後はこれらの提案なども参考に、誰もが安全に自転車が利用できる環境整備に取り組んでいく。

②レンタサイクルのさらなる利便性向上のため、高齢者などにも優しい電動アシスト自転車について、まずは、市営駐輪場のレンタサイクルの導入を進めていく。なお、電動アシスト自転車は、普通の自転車と運転感覚が異なるため、貸出時にその特性や安全な利用方法を伝えるための啓発チラシを配布するなど注意喚起に努めていく。

▲電動アシスト自転車